

『カラマツ将来木施業導入支援ツール』を使ってみよう！』

“将来木施業”をご存じですか？これは、林全体というより、将来有望と判断される『単木』に着目し、それを活かす施業を行っていくとするものです。具体的には、①明確な生産目標（目標径級）を設定した上で、②樹勢の優れた（樹冠の発達した）単木を将来木として選び、③その木の成長を妨げる周辺の樹木を中心に間伐を行っていく施業です。この施業は優良大径木の育成を目的としており、カラマツ人工林における今後の施業方法の一つとして期待されています。

しかし、林分状況に応じて生産目標を設定したり、将来の優良木を選ぶための具体的な指針はありません。そこで、この施業の実践を支援するためのツールを作成しましたので、その『使い方』を説明します（図）。

【以下の情報を入力します】

- ①標準地調査のデータ（立木ごとの胸高直径、樹高、枝下高）
- ②標準地の概要（林齢、標準地面積）
- ③想定している育成目標（任意の主伐予定林齢、育成目標径級）

②標準地の概要

林齢	28 年
標準地面積	0.04 ha

③育成目標

主伐予定林齢	30 年
育成目標径級	42 cm

■ 入力項目
■ 出力項目

①標準地データ

立木のID	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	枝下高 (m)
1	22.3	22.8	16.1
2	23.8	22.7	14.5
3	21.5	22.7	15
4	21.2	22.5	12.1
5	20.4	22.1	15.9
6	23	21.9	12.1
7	20.5	21.8	14.6
8	21.2	21.6	13.5
9	20.6	21.5	14.9

④、⑤主伐予定林齢における胸高直径と将来木候補

胸高直径 (cm)	将来木候補
44.7	○
46.6	○
43.4	○
43.1	○
41.3	
45.2	○
41.3	
42.2	○
41.1	

→ 将来の径級

図 「カラマツ将来木施業導入支援ツール」の使い方

【以下の情報などが出力されます】

- ④主伐予定林齢における立木ごとの胸高直径（推定値）
- ⑤将来木の候補（④の推定値が育成目標以上の立木）

将来木候補には自動的に“○”が付きます。

本ツールでは、将来の胸高直径が単木ごとに推定されますので、出力された結果を見ながら実現可能な生産目標を決めたり、将来木を選定したりすることができます。

なお、このツールはマイクロソフト社のエクセル 2010 で動作し、林業試験場のホームページからダウンロードできますので、是非ご活用下さい。

<http://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/syouraiboku/karamatu.html>

（経営 G 大野泰之・環境 G 福地 稔）

林業試験場 本 場 TEL 0126-63-4164 FAX 0126-63-4166
 道南支場 TEL 0138-47-1024 FAX 0138-47-1024
 道東支場 TEL 0156-64-5434 FAX 0156-64-5434
 道北支場 TEL 01656-7-2164 FAX 01656-7-2164
 ホームページ <http://www.hro.or.jp/fri.html>

発行年月 平成28年10月
 発 行 地方独立行政法人
 北海道立総合研究機構
 森林研究本部 林業試験場
 〒079-0198 美唄市光珠内町東山